

OIST、企業初設立

沖縄プロテイントモグラフィ

3Dでタンパク構造解析

沖縄科学技術大学院大学（OIST、恩納村）発の第1号ベンチャー企業として沖縄プロテイントモグラフィ（沖縄PT、うるま市、亀井朗社長）が設立し8月から始動する。OIST構造細胞生物学ユニット



世界唯一の技術で可視化されたタンパク質の3次元構造。ひも状のものは従来のX線結晶解析によるモデル（OIST提供）

代表のウルフ・スコグラント教授が開発した、タンパク質の構造を3次元で可視化する世界で唯一という技術を独占使用する。新薬開発に必要なタンパク質の分子構造解析を製薬会社などから受託する。従来のX線



ウルフ・スコグラント氏

解析の手法では解析できなかったタンパク質も解析できるようになる。将来的には創薬や診断ビジネスも目

指す。従来、タンパク質の構造はX線結晶構造解析の手法で分析されている。これだと対象物質を結晶化しなければならず、約8割の結晶化できないタンパク質は分析できていなかった。

スコグラント教授が開発した技術では、試料を結晶化させず、電子顕微鏡でさまざまな角度に281回転させて撮影し、3次元構造を復元する。さらに独自開発したプログラムでパソコン上でノイズを分離して画像処理する。約1.5ナノメートル（100万分の1）まで識別できる分解能がある。沖縄PTは6月25日設立。スコグラント教授は「世界に唯一の技術で、日本の製薬企業にもチャンス。新薬開発に寄与できる」と技術の意義を強調した。